

(様式第2号)

事業所名 グループホーム栄寿荘

目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 平成 29年 3月 28日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	地震、水害などの自然災害時における対策、防犯対策が出来ていない。避難の判断、避難方法などを職員全員が心得ておく必要がある。	マニュアルの策定と訓練の実施、課題の明確化	防災士の方などに講師として来て頂き、災害時に心得ておくことなどを学ぶ。	12ヶ月
2	49	季節的に難しい面はあるが、重度の方の外出支援がなかなか出来ない。ご家族からも「時々外気浴させて欲しい」と要望が挙がっている。職員配置も含めケアの在り方を考える必要がある。	どの入居者様にも、それぞれの状態に応じた外出支援を行えるようにする。	ケア会議で外気浴で得られる効果などをスタッフみんなで共通認識を持ち、その方の生活、健康状態にどう影響するのかを考える。	6ヶ月
3	6	入居者様の状況から常に見守りが必要な方の対応として、片ユニットのみ日中に玄関施錠を行っている。人権、拘束、命、安全、自由などスタッフ各々に揺れ動く思いもある。	短時間でも開錠する時間帯を設けることから始める。少しずつ開錠の時間帯を広げていく。	勉強会で行動心理症状について深め、その方の行動背景を考える。スタッフの悩みを共有する。ご家族の意見収集。業務を考える。	12ヶ月
4	30	定期受診の他、急な体調不良の受診以外にご家族に受診依頼をしているが、ご家族の負担、天候によっては本人様にも負担となっているのも実情である。今後の重度化も見据えた課題検討が必要である。	協力医療機関と訪問診療などの協力体制を整える	ご家族の意見収集。協力医療機関との話し合いを行う。	12ヶ月